

平成21年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率

平成21年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。

実質赤字比率と連結実質赤字比率については、昨年度に引き続き、赤字はなく、実質公債費比率については0.1ポイント上昇しましたが、借金残高は減少しており、将来負担比率については4.2ポイント昨年度に比べ改善いたしました。いずれの指標についても、早期健全化基準や財政再生基準を下回っています。

指 標	H 2 1 決算比率	早期健全化基準	財政再生基準	備 考
実質赤字比率	-	(12.66%)	(20.00%)	赤字がないときは「-」で表示
連結実質赤字比率	-	(17.66%)	(40.00%)	
実質公債費比率	8.6%	(25.0%)	(35.0%)	H19 : 8.7% H20 : 8.5%
将来負担比率	68.3%	(350.0%)		H19 : 79.9% H20 : 72.5%

資金不足比率

平成21年度決算に基づく各公営企業の資金不足比率の算定結果は、次の表のとおりとなりました。昨年度に引き続き、資金不足（赤字）を生じた公営企業は、ありませんでした。

公営企業会計	H 2 1 決算比率	経営健全化基準	備 考
水道事業会計	-	(20.00%)	資金不足がないときは「-」で表示
下水道事業特別会計	-		
長野土地区画整理特別会計	-		
簡易水道事業特別会計	-		